

2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52303	保育の計画と評価 Curriculum and Evaluation of Childcare	太田美鈴	○	共通	2	選択	1後期

科目の概要

保育原理、乳児保育Ⅰの科目での学修と関連づけながら保育の内容充実とは何であろうか、また保育の計画と評価とは何であろうかという問題意識をもって基本を正しく学ぶ。また子どもの姿のとらえ方や保育の見通しなど様々な事例から保育者としての在り方を応用的に考えることができるようにする。子どもの育ちの理解とともに保育者の適切なかわり方とはどのようなものか、何のために指導計画を立案するものかを理解し、評価の重要性や子ども姿との関係性についての全体構造をとらえることを修得する。★保育所で保育者としての実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を授業の講義を通して理解に繋げていく。

学修内容	到達目標
① カリキュラムの基礎理論を理解する ② 保育における計画と評価の意義を理解する ③ 保育所保育指針等の内容及び社会的背景を理解する ④ 保育の計画について理解する ⑤ 保育所における保育の評価について理解する	① カリキュラムの基礎理論を述べることができる ② 保育における計画と評価の意義を述べることができる ③ 保育所保育指針等の内容及び社会的背景を説明することができる ④ 保育の計画を作成するポイントを学び活用することができる ⑤ 保育所における保育の評価について学び実施することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	予習・復習などには進んで取り組み自己課題をもって学修に取り組む。
	働きかけ力	
	実行力	課題に応じた保育の計画を考えることができる。
考え抜く力	課題発見力	事例を読み解き、保育者としてどのように考えるのかを見つけることができる。
	計画力	
	創造力	豊かな発想をもち、子どもの発達過程を予測して実現性の高い指導計画を考える。
チームで働く力	発信力	立案した計画を分析し他者にわかりやすく説明できる。
	傾聴力	他者の話を聞く中で、自分なりの意見や考えとを比較し再構築できる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：保育の計画と評価 演習ブックミネルヴァ書房、『保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説とポイント』ミネルヴァ書房、保育所保育指針厚生労働省、幼稚園教育要領文部科学省、幼保連携型認定こども園教育・保育要領内閣府、文部科学省、厚生労働省
参考文献：教育課程・保育課程論基本保育シリーズ14、配布するプリント

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：教育実習、保育実習、保育・教職実践演習
資格との関連：幼稚園教諭2種免許、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
保育者を目指す者として自覚をもち受講すること。 常に、「自分が保育者の立場だったらどのような行動をとるだろうか」と考え、保育観を構築できるように努めること。	テキストや指針・要領解説書を必ず持参のこと ・身近な乳幼児を意識し観察することで子ども理解を深め、指導計画作成に役立てる。 ・グループワークがあるときには事前に指導計画を考えておく。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	30	①	✓			・カリキュラムについての基礎理解ができているか評価する。10点 ・保育における計画と評価の意義を理解できているかを評価する。10点 ・こどもの理解に基づく指導計画の循環による保育の質向上の意味を理解する。10点
				②	✓			
				③	✓			
				④				
				⑤	✓			
		レポート	20	①	✓			・指導計画を立案するために重要点が把握できている。10点 ・乳幼児の発達に合わせた指導計画を立案できる。10点
				②				
				③				
				④	✓			
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①				グループワーク 課題1 子どもの発達と計画の関係性 課題2 未満児保育で大切にすること 課題3 幼児の発達に合わせた保育の計画 課題4 それぞれの保育の計画の持つ意味を理解する。各10点
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）予習・復習などには進んで取り組み自己課題をもって学修に取り組む。 （実行力）課題に応じて保育の計画を考えることができる。 （課題発見力）事例を読み解き、保育者としてどのように考えるのかを見つけることができる。 （創造力）豊かな発想をもち、子どもの発達過程を予測して実現性の高い指導計画を考える （発信力）立案した計画を分析し他者にわかりやすく説明できる。 （傾聴力）他者の話を聞く中で、自分なりの意見や考えとを比較し再構築できる （規律性）遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
保育の計画について理解し、子どもの姿を反映した独自性を持った指導計画の立案ができる。 提出物の期限を守り、子どもの発達を反映した指導計画の重要性が理解できる。 総合評価 90点以上 S (秀) 89点～80点 A (優)	保育の計画についての理解や子どもの姿を反映した、指導計画を立案できる。 課題提出ができ、子どもの発達を反映した指導計画の必要性が理解できる。 総合評価 79点～70点 B (良) 69点～60点 C (可)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション 保育所保育指針における保育の目標と計画の考え方を保育所保育指針を通して学ぶ。	講義 保育所保育指針の保育所の目標を確認する。 確認テスト 解説を通してフィードバックする。	保育の目標等は法令で示されていることを知り、その法令を述べることができる。	(予習) テキストのP1-17を読んでおく。 (復習) 保育の計画と評価についてまとめておく。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	保育におけるカリキュラムについての全体像を知る。	講義 カリキュラムの考え方と全体像を理解する。 確認テスト 解説を通してフィードバックする。	10の姿の目的と評価の方法を説明できる。	予習) テキスト20～30を読んでおく。 (復習) カリキュラムについて調べる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	子ども理解に基づくPDCAサイクルの循環を理解し、子どもの理解に当てはめて考える。	講義 子ども理解を基盤とした指導計画を理解する。 確認テスト 解説を通してフィードバックする。	保育計画の基盤は子ども理解であることが分かる。	(予習) テキスト32～38を読んでおく。 (復習) まとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
4	全体的な計画の位置づけと編成の方法を学ぶ。	講義 全体的な計画とは何かを保育所保育指針を通して理解する。 確認テスト 解説を通してフィードバックする。	全体的な計画の全体像が分かる。	(予習) テキスト42～49を読んでおく (復習) 年齢別の保育目標についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
5	0・1・2歳児の長期的な指導計画の作成方法を学ぶ	講義 長期的な計画と全体的な計画との関係性を理解する。 確認テスト 解説を通してフィードバックする。	長期的な指導計画の位置づけを理解し、作成方法が分かる。	(予習) テキスト54～68を読んでおく。 (復習) 0・1・2歳児の発達についてポイントをまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	3歳以上児の長期的な指導計画の作成方法を学ぶ	講義 長期的な計画と全体的な計画との関係性を理解する。 確認テスト 解説を通してフィードバックする。	長期的な指導計画の位置づけを理解し、作成方法が分かる。	(予習) テキスト70～78を読んでおく。 (復習) 年間行事について調べまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
7	0・1・2歳児の短期的な指導計画の作成方法を学ぶ	講義 短期的な指導計画とは何かを理解する。 確認テスト 解説を通してフィードバックする	短期的な指導計画の位置づけを理解し、作成方法が分かる。	(予習) テキスト80～92を読んでおく (復習) 週案を作成しておく。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
8	3歳以上児の短期的な指導計画の作成方法を学ぶ	講義 短期的な指導計画とは何かを理解する。 確認テスト 解説を通してフィードバックする	短期的な指導計画の位置づけを理解し、作成方法が分かる。	(予習) テキスト94～112を読んでおく (復習) 実践事例から10の姿を考えておく。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	乳児保育における「指導計画」の実践展開 (1)	講義 乳児における保育室の環境と生活のポイントについて理解する。 グループワーク「乳児保育で大切にすること」	0・1・2歳児の保育を計画するにあたりどのようにデザインしていくのかを理解する。	(予習) 乳児の生活の流れを把握しておく。 (復習) 乳児の指導計画について構想をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	乳児保育における「指導計画」の実践展開 (2)	演習 細案を作成する。 細案のポイントについて質疑応答し、フィードバックする。	乳児の発達の特徴を理解し、どのような活動で一日が構成されているのかを知り、指導計画につなげることができる。	(予習) 乳児の発達の特徴を理解しておく。 (復習) 細案のポイントをまとめ計画を見直す。	180	実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	乳児保育における「指導計画」の実践展開 (3)	演習 細案を発表する 質疑応答に答えフィードバックする。	乳児の保育を計画するにあたりどのようにデザインしていくのかを理解する。また、家庭と地域との連携について理解する。	(予習) 指導計画を見直し発表に準備をしておく。 (復習) 指導計画を見直し、実践できるように改善をしておく。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	さまざまな保育の「指導計画」のデザインと実践展開(1) 連絡帳の書き方を学ぶ	講義 事例を通して連絡帳の意義と書き方を理解する。 グループワーク 連絡帳を作成する。 他者の意見を聞きフィードバックする。	連絡帳の意義を知り、書き方の基本を理解する。	(予習) 乳児の生活について調べておく。 (復習) 乳児保育と家庭との連携についてまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
13	さまざまな保育の「指導計画」と実践展開 (2)	演習(いろいろな計画を比較討議する) 本日の学修について質疑応答し、フィードバックする。	保幼小連携の「指導計画」の意義や実践よりこれからの課題について考える。	(予習) 保幼小連携とはどのようなことを考えておく。 (復習) 保幼小連携とはどのようなことをまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
14	記録・反省・評価から再立案することの意義を学ぶ。(1)	講義 指導計画についての評価反省の考え方についてのプリントに記入。 本日の学修の質疑応答し、フィードバックする。	保育者が保育実践を記録することの意味や方法について理解する。	(予習) 実習記録に目を通しておく 記録から反省を生かし評価し今後どうすべきかをまとめる。 (復習) フィードバックのプリントをもとに理解を深める。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
15	記録・反省・評価から再立案することの意義を学ぶ(2)	講義 保育における評価とは何か、保育の質の向上との関係について グループワーク 自己評価と効果について振り返り、解説を通してフィードバックする。	指導計画を自分の保育に生かすためにはどのようにしたらよいのか、また今後の課題について理解を深める。	(予習) 実習記録をもとに自己課題を考える。 (復習) 記録・反省・評価から再立案する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力